

追及!  
森友学園事件

異例づくめの「安倍首相夫妻案件」

# 愛国小学校の認可の カラクリ

片岡伸行

「100万円の寄付」だけが問題ではない。学校法人「森友学園」へのタダ同然の国有地払い下げと一体となつて行なわれた、大阪府による不可解な小学校認可。財務省や大阪府の異例の動きは、「首相夫妻案件だったから」という可能性が強まった。国会は昭恵氏らの証人喚問をすべきた。

「森友学園の小学校の認可は近畿財務局の要請があったから」

大阪府の松井一郎知事は3月13日の会見で、財務省からの圧力で仕方なく認可したかのような責任転嫁ともとれる発言をした。同月16日には「総理夫人、昭恵さんが名譽校長ということで、(近畿財務局が)ずいぶん親切な対応をしようなどと思った」とも述べた。

## 近畿財務局の働きかけ

森友学園の籠池泰典理事長が大阪府に「安倍晋三記念小学校」の設立について相談したのは2013年9月とされる。9月2日には森友学園が近畿財務局に国有地の取得要望書を提出している。

それを受けて同年9月12日、近畿財務局管財部の職員が大阪府の私学課を訪れ、「森友学園が国有地払い下げに手を挙げているから」

などと説明。翌10月30日には、近畿財務局から同課に状況確認の電話が入ったという。さらに11月19日、近畿財務局管財部の担当者が公文書を持参し同課を訪問。公文書は、森友学園が国有地の取得を希望しているので「大阪府としての意見を」と照会する内容だ。

松井知事が「近畿財務局の要請があったから認可した」としてい



森友学園の小学校(瑞穂の國記念小学院)設置認可を決めた大阪府(上)と、働きかけをしたとされる近畿財務局の入る大阪合同庁舎(左)。

るのは、この三度の働きかけのことを指しているようだ。

また、3月23日に大阪府議会に参考人として招致された大阪府私学審議会の梶田毅一会長は「土地の取得がなければ学校なんか設立できない」が「森友学園は異例」とし、「確約があったんですね、国から。こちら(大阪府)で認可適当が出れば必ず国の審議会で森友側に土地が渡るようになります」と述べている。

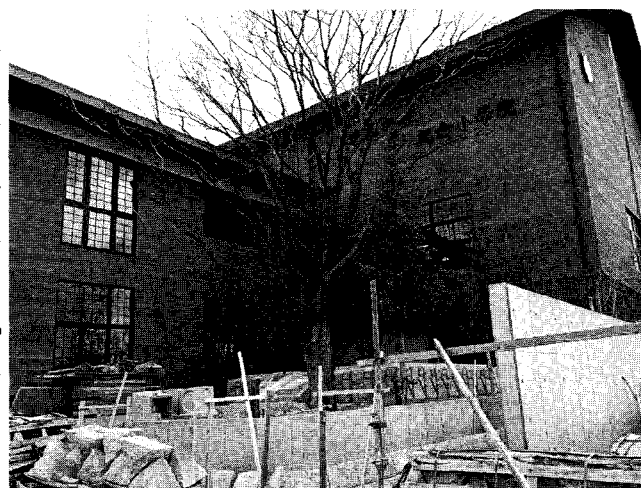
これが事実だとすれば「付度」のレベルを超える、特定の民間人への便宜供与ではないか。

## 首相夫妻の関与

こうした国側の異例の後押しもあって、翌14年から森友学園側は小学校認可へ向けて積極的に動き出す(別掲「事実経過」参照)。

この年(14年)の1月早々、森

大阪府豊中市野田町に建てられた「瑞穂の國記念小学院」。建設工事はすでにストップしている。



友学園は麻生太郎財務大臣の盟友である鴻池祥肇参議院議員側にある10万円を寄付。籠池夫妻は4月にも鴻池議員の事務所を訪れ、「こんにゃく(100万円の束)」「あるいは「商品券」を渡そうとしたが、断られたとされる。

しかし同月25日、昭恵氏が森友学園の経営する塚本幼稚園(大阪市内淀川区)を訪れ、「教育勸語などに感動」して、籠池氏が信奉する住吉大社にも参拝した。鴻池議員から邪険に扱われる一方、籠池氏にしてみれば、強い味方が現れたことになる。

4カ月後の同年8月、森友学園は大阪府に小学校の設置計画書を提出し、続いて10月31日には認可